

インターネット情報検索技術

田中 聰* 土田泰治*
須賀田裕臣* 長田明夫**
徳永寿郎*

要旨

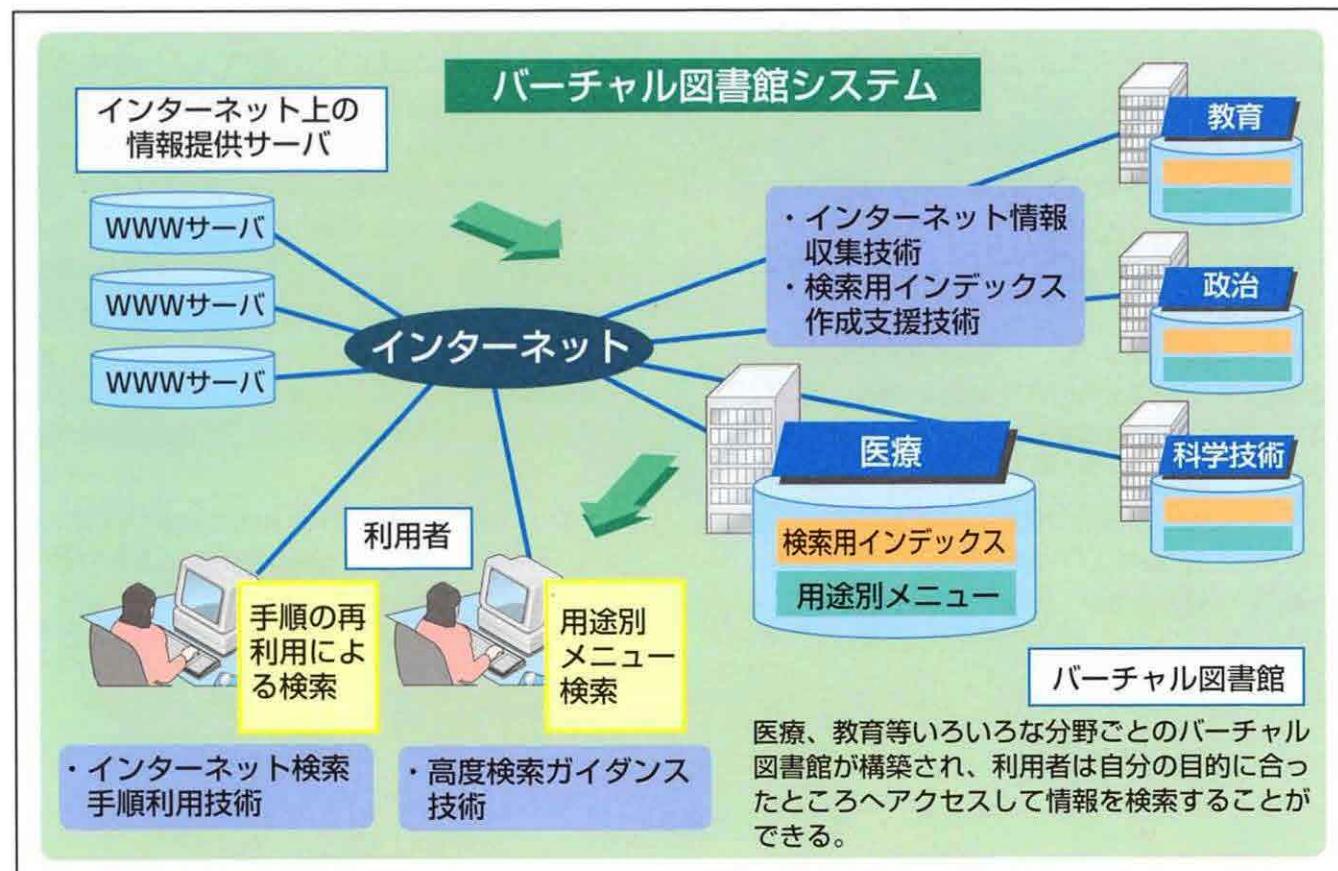
近年、インターネットは急速に普及している。特にWWW(World Wide Web)による情報発信は目を見張るものがあり、企業・自治体・学校・個人などから、多種多様な情報が世界に向けて発信されている。これら、広域ネットワーク上に分散し、種々のユーザが構築した膨大かつ常に更新が行われるような情報の中から、コンピュータの専門家でない利用者が目的とするデータの所在をいかに容易に探し出すかが課題となっている。ここでは、この課題解決のための要素技術となる以下のインターネット情報検索技術について述べる。

- インターネット情報収集技術：インターネット上の情報の自動収集及び不要情報を削除する技術
- 高度検索ガイダンス技術：用途別メニューによる検

索技術、メニュー検索や条件検索を複合させて目的とする情報を絞り込む技術

- 検索インデックス作成支援技術：用途別メニューの作成、用途別メニューと情報の対応付けを支援する技術
- インターネット検索手順利用技術：検索手順などの作業を蓄積しておき、同様な検索を行うときに再利用して効率化を図る技術

これらの要素技術は、インターネット利用者の増加に伴ってますます重要となる。今後は、各種応用システム(電子図書館、地域情報サービス、企業内インターネットなど)へ適用していく、その有効性を検証していく。



バーチャル図書館システムへの適用例

インターネット上の情報提供サーバから自動的に情報を収集し、バーチャル図書館上に検索用インデックスが構築される。利用者は、用途別メニュー等の検索インターフェースでこのインデックスをアクセスすることにより、簡単に目的とする情報の所在を検索することができる。